

指定管理者総合評価シート

様式 4

施設名	成田市地区公園、近隣公園、街区公園(三里塚記念公園外129施設)		
指定管理者	公益財団法人 成田市スポーツ・みどり振興財団		
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日	～ 令和 3 年 3 月 31 日	4 年目
施設所管課	都市部	公園緑地課	

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
I 実施体制に関する評価	施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	—	—
	人員体制	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	A	A
		スタッフのシフトは適正であるか	A	A
		事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか	A	A
	利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか	—	—
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か	A	A
		外部委託事業者に対して協定書等を遵守させているか	A	A
	記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	A	A
		点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	A	A
	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか	A	A
	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	A	A
	危機管理	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	—	—
		避難経路は適切に確保されているか	—	—
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	A	A
	個人情報保護	個人情報等の管理は適切か	A	A
		個人情報保護に関する規程が整備されているか	A	A
		情報漏えいを防止する仕組みや対応策が構じられてるか	A	A
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されているか	A	A
		協定書等に従い、情報を適切に管理しているか	A	A
	その他	災害対応にあたり迅速に対応できたか	A	A
【総括 I】	実施体制の履行状況に関する評価(標準 20 項目・本施設 16 項目)	A		
指定管理者の自己評価	異常気象や台風による倒木等の被害対応を迅速に実施、また、今後の対策として幹線道路沿いや民家付近の高木剪定の実施計画を作成し被害が最小限になるように整備してきました。公園遊具について、遊具点検での不具合個所については順次修繕し、安全に利用できるよう努めました。			
施設所管課の評価	災害対応については迅速な市への報告及び業者への指示を行っており、速やかに修繕・撤去できた。 毎月定例の打合せを行うことにより、報告や相談など情報共有ができていた。			

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
II サービスの内容や水準に関する	利用者対応	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	—	—
		言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	A	A
	利用案内	ホームページは計画どおりに運用されているか	A	A
		利用方法をわかりやすく説明できる仕組みが構築されているか	A	A
	利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	—	—
		利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか	—	—
	事業の実施	事業計画書に則し、指定事業を実施しているか	S	A
		施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	S	A
		各事業の参加者数は、計画どおりであるか	A	A
		参加促進への取組を積極的に実施しているか	A	A
	環境への配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされているか	A	A
	苦情等の対応	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	A	A
	利用者への調査	利用者満足度調査を実施し、その結果は妥当であるか	—	—
		利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	A	A
	維持管理	施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	A	A
		日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか	A	A
		備品台帳により記録が適切に保管されているか	A	A
		市と指定管理者の備品が明確に区別されているか	A	A
	その他	必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	A	A
		公園の利用についてマナー啓発を行ったか	A	A
【総括 II】	サービス等の内容や水準に関する評価(標準 20 項目・本施設 16 項目)	A		

指定管理者総合評価シート

Ⅱ 評価	指定管理者の自己評価	公園利用促進として公園内に健康ウォーキングコースマップを設置し、公園利用の促進に努めました。また、近隣の納涼会や親睦会が行われる場合には、事前に施設を点検、芝刈り等実施し気持ちよく利用してもらうように整備しました。また、ホームページ上で使用禁止遊具の告知・苦情対応についても、出来る限り対面で話を聞き対応し配慮しました。
	施設所管課の評価	自主事業で使用する原材料に、公園で発生した間伐材の活用や指定管理者スタッフが栽培したラベンダーを使用するなど意欲が見られた。 公園利用者満足度調査については、公園看板にQRコードを貼り、利用者がコードを読み取ることで回答が可能になるなどの工夫を検討していただきたい。

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
Ⅲ 收支等に関する評価	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	A	A
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	A	A
		料金徴収、減免、還付の手続は適切に処理していたか	A	A
	予算執行	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	A	A
		収支計画と事業計画の整合はとれていたか	A	A
	経費節減	経費削減に向けた取組を積極的に実施し、その効果が上がったか	A	A
	その他	委託や公園の修繕方法等について事前に相談を行い経費を削減したか	A	A
【総括 Ⅲ】	收支等に関する評価(標準 7 項目・本施設 7 項目)	A		
指定管理者の自己評価	適正に経理事務・予算執行・経費削減に取り組んでおります。			
施設所管課の評価	計画的に予算管理を行い、打ち合わせの度に修繕箇所について相談するなど、無駄な経費の削減に努めた。			

評価項目	評価基準/目標は達成されたか	数値目標	自己評価	所管課評価
Ⅳ 目標管理に関する評価	目標①	利用者や周辺住民が安全・安心して利用できる管理・運営を行	A	A
	目標②	経年劣化や不具合箇所については、市に報告し事故防止に努	A	A
	目標③	社会情勢や市民ニーズの多様化へ柔軟に対応していきます。	A	A
	【総括 Ⅳ】	目標管理に関する評価(標準 3 項目・本施設 3 項目)	A	
指定管理者の自己評価	緑化推進事業講座(バラ教室3回・ラベンダースティック教室・ヒンメリ教室・プリザーブドフラワー教室)・ウッドチップ無料配布実施し利用者からも高評価でした。また、啓発事業では、今後、公園での利用が考えられるドローンの体験会や公園散歩での利用マナー問題になってる犬の躰教室を実施したほか、マナー看板を設置し利用者同士のトラブル防止に取り組みました。			
施設所管課の評価	ドッグラン利用者向けの自主事業を行うなど、多くの方が楽しめ学べる講座を実施できた。また、ドローン講座についても屋内使用を想定しての講座を実施するなど、屋外での使用禁止についても指導しており、多様化する公園行政に対応したものであった。			

Ⅴ	【総合評価】	I～Ⅳの総括による総合評価	A
---	--------	---------------	---

Ⅵ 特記事項	特に評価される点	管理対象の公園の数が多く、規模も多様であるが、悪天候時についても迅速に対応できる管理体制を確立しており、これまでの実績からの信頼性は大きい。また、市への報告、協議についても適切な時期に行っており、良好な公園管理を行っている。
	改善が望まれる点	公園施設のバリアフリー化の現状把握に努めて頂き、出入り口の段差等の未対応箇所についても検討をお願いしたい。また、園路灯の点灯状況を含め、夜間巡視の実施についても検討をお願いしたい。